

都市再生整備計画

は っ か い ち し ち い き い り ょ う き ょ て ん と う せ い び だ い に き
廿日市市地域医療拠点等整備地区(第二期)

ひろしま は っ か い ち
広島県 廿日市市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都道府県名	広島県	市町村名	廿日市市	地区名	廿日市市地域医療拠点等整備地区(第二期)	面積	3.9	ha
計画期間	令和7年度	～	令和9年度		交付期間	令和7年度	～	令和9年度

目標
目標1:福祉機能・医療機能・まちづくり機能の一体的な整備による地域の賑わいの創出 目標2:高度化・多様化する医療ニーズへの対応等、市民が安心できる地域医療体制の構築 目標3:鉄道およびバスネットワーク等の公共交通網強化による利便性や快適性の向上
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は、沿岸部・内陸部・山間部・島しょ部から構成され、自然に恵まれ、歴史・文化・産業・地域資源の面において多様性をもつまちである。また、JA広島総合病院という第8次広島県保健医療計画(R6度～R11度)において広島西二次医療圏における拠点病院として位置づけられた医療機能をはじめ、保健・福祉・教育・文化機能など、生活環境についても充実が図られている。さらに、広島市に隣していることから、本市が有する機能に加えて、より高度なライフスタイルの享受が可能なまちである。 「廿日市市都市計画マスタープラン」(平成30年3月)においては、「市民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくり」をまちづくりの基本理念とした上で、重点地区整備構想として、都市構造に定める拠点地区の位置づけを踏まえ、より詳細な施策の方針を定めている。特に、市街地が連担し、主要公共施設や商業・業務・生産機能などの立地、鉄道の利便性、幹線道路へのアクセシビリティ等に恵まれ、廿日市地域の拠点としてその役割を担って「シビックコア周辺地区」については、拠点地区としての都市機能・都市空間による活力や魅力を備えるとともに、これらに支えられた快適で利便性の高い都市居住の場としてのまちをめざし、地区整備の詳細な地域の目標像を「広島都市圏西部の広域拠点にふさわしい賑わいと魅力のある都市拠点、まちなか居住の場の形成」と定め地区整備の方針を定めている。 そのうち、「広電JA広島病院前駅周辺」については、多くの人が集い、行き交う賑わいのあるまちを創るため、既存の病院と連携した地域医療拠点等の形成を図ることとし、鉄道駅や幹線道路を活かした高度利用による利便性の高い快適なまちなか居住を実現することとしている。 また、「拠点の形成による持続可能なまちづくり計画(廿日市市立地適正化計画)」(平成31年3月)においては、当地区を地域医療拠点(都市機能誘導区域)と定め、本市の重点施策としての特徴的な都市機能(医療機能・介護福祉機能・子育て機能)を配置することとしている。 まちづくりの経緯及び現況 本地区の対象となる廿日市市の東部南地域は、古くからの市街地と工業地である木材港から構成されており、行政管理機能、保健・医療・福祉機能、商業・業務機能、文化・スポーツ機能等を中心とした多様な都市機能が集積立地し、国道2号(宮島街道)とJR山陽本線、広電宮島線が並行して走り、その周辺には店舗などが混在した比較的高密度な住居系市街地が形成され、廿日市地域の拠点としてその役割を担ってきた。 さらに、廿日市市の都市拠点としてのシビックコア周辺地区としても位置づけられ、拠点地区として都市機能・都市空間による活力や魅力を備えるとともに、これらに支えられた快適で利便性の高い都市居住の場としてのまちを目指している。近年は、土地利用転換による公共・民間の拠点施設の立地や広電廿日市市役所前駅整備等のシビックコア地区整備が進展するなど、複数の拠点性を持つ市街地が複合した地区へと変化しつつある。 平成26年10月29日に締結した廿日市市地域医療拠点等整備に関する基本協定では、イオン廿日市店跡地を利活用し、「地域医療拠点の拠点整備」、「JA広島総合病院の拡張整備」、及び「都市拠点機能の導入」について、円滑な事業実施及び本市の医療提供体制の充実に向け、広島県厚生農業組合連合会(以下、「厚生連」)、広島県厚生農業協同組合広島総合病院(以下、「JA広島総合病院」)及び市が相互に連携協力していくこととしている。 これらを踏まえ、廿日市市地域医療拠点等整備地区(都市再構築戦略事業、都市構造再編集支援事業)第一期計画において、地域生活基盤施設や中心拠点誘導施設(地域包括支援センター)、高次都市施設(地域交流センター、多目的ホール、子育て世代活動支援センター等)及び周辺施設の整備事業を実施した。 なお、地域生活基盤施設の歩行者空間整備事業として実施した広場については、病院新棟と複合施設との間の圧迫感をなくし、街路灯を配置したことで、夜でも安全・安心に利用できるようになった一方で、のぼり方面から駅へ行く人に対し、迂回が生じている状況である。 また、初期救急医療機能を休日・夜間緊急診療所からJA広島総合病院が運営する廿日市休日夜間急患センターへ移転することで、第二次及び第三次救急医療との連携が強化された。
課題
・市民の身近な生活拠点として、適切な機能配置や集積により、地域の賑わいと活力の中心になることが求められている。 ・交通再編による医療拠点や商業施設などの利用に適したダイヤ・ルートを編成することで、高齢者等の日常生活における利便性向上と地域活性化を図ることが求められている。 ・シビックコアからの国道2号歩道整備を行うことで、シビックコアとの一体性及び、安全性の向上を図ることが求められている。 ・国道2号の歩道幅員が狭いため、広島県が実施する交通安全施設等整備事業にあわせて適切な歩道幅員を確保する必要がある。 ・第1期整備の前は、病院とイオン廿日市店との間の市道を通り、広電広島病院前駅までアクセスできていたが、病院新棟を既存棟と平面で接続することになったことから、のぼり方面から来て駅へ行く人に対し、迂回が生じている状況である。
将来ビジョン(中長期)
【総合計画】第6次廿日市市総合計画(平成28年度～令和7年度) ・総合計画における計画の方向性として、「くらしを守る」、「人を育む」、「資源を生かす」、「新たな可能性に挑む」掲げており、後期基本計画(令和3年度～令和7年度)において、拠点性を高めるまちづくりとして、各拠点の特性を活かした活力を創出するため、公民連携により複合施設を整備し、医療・福祉・まちづくりの機能を連携させ、一体的なサービスの提供を目指すこととしている。 また、その他の施策方針(救急医療・地域医療の推進、子どもを安心して産み育てやすい環境づくり)においても、関連する取り組みが位置づけられている。 【都市計画マスタープラン】廿日市市都市計画マスタープラン(平成30年度～令和7年度) ・都市づくりの理念として、「市民一人ひとりが幸せに暮らせるまちづくり」を掲げ、将来像は総合計画を踏まえ「挑戦! 豊かさで活力あるまち はつかいち ～夢と希望をもって世界へ～」を定めている。 ・以下のような都市づくりの目標を掲げている。 ○都市機能が集約配置された持続可能で活力あるまち ○誰もが安全・安心で快適に住み続けられるまち ○多彩な資源を活かした人・ものが交流する活力あるまち 【立地適正化計画】拠点の形成による持続可能なまちづくり計画(令和元年度～令和22年度) 都市計画マスタープランの基本理念を踏まえ、将来都市像として「一つひとつの地域で幸せに暮らせるまちづくり」を掲げている。 ・以下のようなまちづくりの基本目標を掲げている。 ○地域の特性等を活かした拠点設定 ○拠点の役割に応じた都市機能誘導区域、誘導施設の設定 ○適切な規模の市街地の維持 ○市街地内及び拠点間のネットワークの形成 ○今後の産業拠点整備等も見据えた誘導区域設定 ○適切な計画区域の設定

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。							
都市機能配置の考え方 ・廿日市市地域医療拠点等整備地区（都市再構築戦略事業）第一期計画事業において整備した都市機能に加え、都市機能誘導施設の集積を図り、地域医療拠点としてのサービス提供とともににぎわいのある拠点の創出を図る。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等 ・廿日市市地域医療拠点等整備地区（都市再構築戦略事業）第一期計画事業において整備した官民連携での複合施設整備や病院新棟整備にあわせ、歩行者空間等の周辺整備を実施することで、各種機能の連携強化を図る。							
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
安心して生活できる体制づくりへの満足度	満足度 (2.0～4.0)	意識調査を行い、市民の満足度を確認	計画対象地区における利便性向上などに対する市民の満足度の向上	3.06	R5年度	3.22	R9年度
周辺地域の居住人口	人	地御前・串戸地区における居住人口の維持	地域医療拠点等整備地区の利便性向上による居住誘導	9,225人	R6年度	9,225人	R9年度
広島電鉄宮島線JA広島病院前駅の乗降者数	人/年	現在と地域医療拠点等整備後のJA広島病院前駅乗降者数の比較	医療施設や交流拠点を中心とした回遊性・利便性の向上、魅力ある滞留空間の創出による来街者数の増加。	1,270人/日	R5年度	1,474人/日	R9年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【快適に歩ける空間の創出による地域医療拠点等整備地区の回遊性向上】 ・ゆとりある歩行空間・見通し確保のための支障物の撤去 ・広島電鉄宮島線JA広島病院前駅のアクセス性向上 ・安全な回遊、憩い、待合い等のための歩行・滞留空間の整備		【基幹事業】(道路)歩行者空間整備事業 【基幹事業】(地域生活基盤施設)広場整備事業 【基幹事業】(地域生活基盤施設)情報板設置 【関連事業】一般国道2号 交通安全施設等整備事業(県)
その他		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

...C

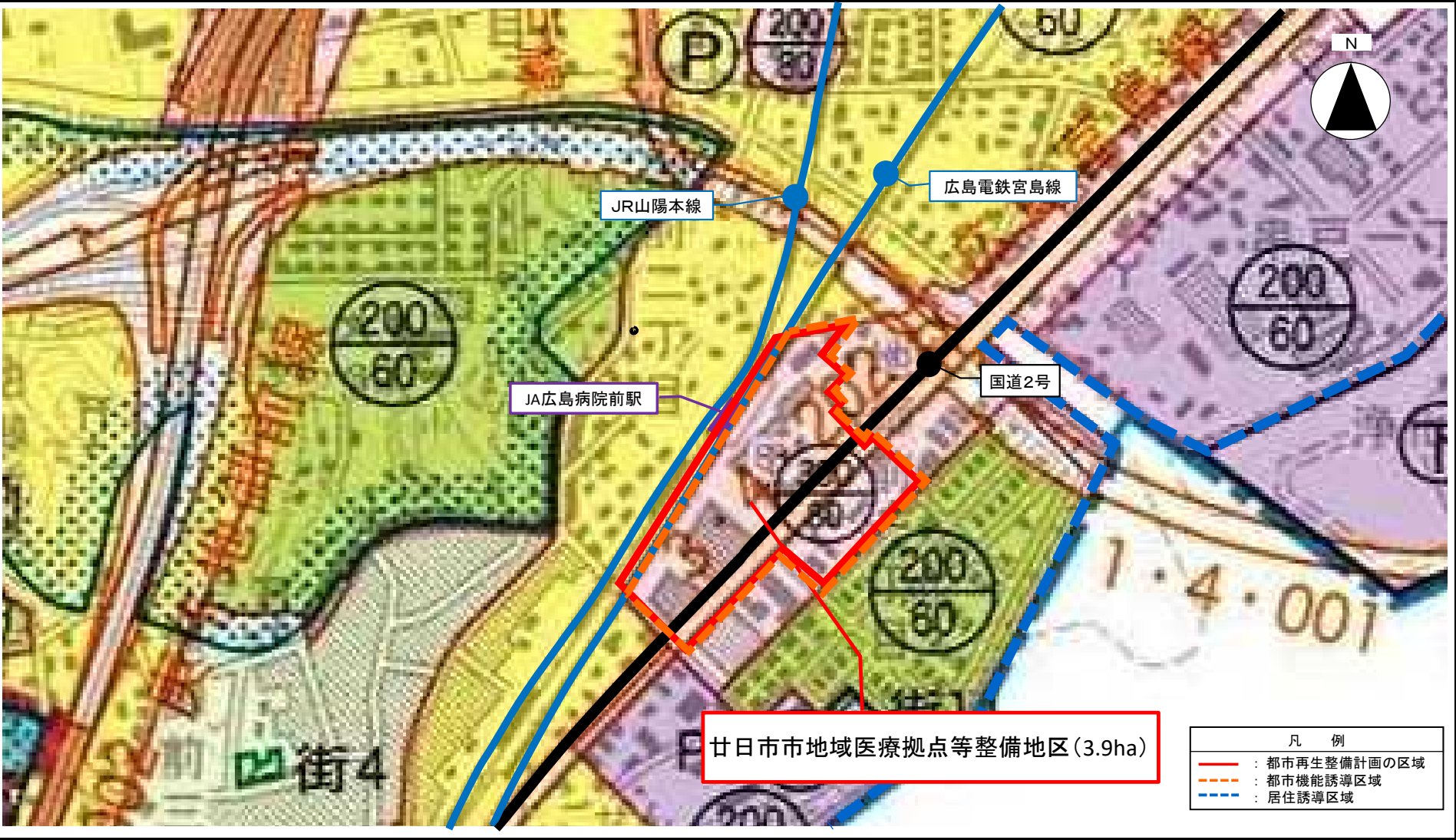
〔参考〕都市構造再編集中支援関連事業

[illegible]

(参考) 関連事業

[illegible]

廿日市市地域医療拠点等整備地区(広島県廿日市市)	面積	3.9	ha	区域	広島県廿日市市地御前1丁目の一部
--------------------------	----	-----	----	----	------------------



廿日市市地域医療拠点等整備地区(第2期)(広島県廿日市市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	目標1:福祉機能・医療機能・まちづくり機能の一体的な整備による地域の賑わいの創出	代表的な指標	安心して生活できる体制づくりへの満足度 (満足度(2.0~4.0))	3.06 (R5年度)	→	3.22 (R9年度)
	目標2:高度化・多様化する医療ニーズへの対応等。市民が安心できる地域医療体制の構築		周辺地域の居住人口 (人)	9,225 (R6年度)	→	9,225 (R9年度)
	目標3:鉄道およびバスネットワーク等の公共交通網強化による利便性や快適性の向上		広島電鉄宮島線JA広島病院前駅の乗降者数 (人/日)	1,270 (R5年度)	→	1,474 (R9年度)

